

1 学校教育目標	2 本年度の重点目標
心 と 智 恵 と 技 を と ぐ 上 峰 っ 子 の 育 成	① 豊かな心の育成 ② 確かな学力の定着 ③ 健やかな体の育成

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

3 目標・評価

① 豊かな心の育成

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
学校運営	○開かれた学校	*開かれた学校づくりの推進	・参観者数を昨年度より増やす。 ・学校だより等で学校の様子を知らせる。 ・地域の方々との連携や協力を促す。	保護者や地域の方々に、学校だよりや各学年・学級だより等で来校を促すと同時に、携帯電話の「マチコミ」による情報発信、日程をホームページや文書で早目に連絡する。また、地域の人材活用については、目的を踏まえて、常に見直しを図っていく。学校だよりやHPでも紹介する。	教務部
教育活動	●いじめの問題への対応	*人権教育の充実	・生活アンケート「人のいやがることを言ったりしない」児童を90%以上にする。 ・生活アンケート「友だちには、「さん」や「君」をつける」児童を90%以上にする。	生活アンケートを月に1回実施し、実態を把握して指導する。 保護者へのアンケートを年に2回実施し、実態把握をして改善に生かす。 「よい子」(連絡帳)を使って、常時、保護者と連携する。	生徒指導
	○生徒指導・教育相談の充実	*生活指導・教育相談の充実 日常の観察指導を徹底すると共に、いじめの実態調査や子どもとの相談活動、家庭との連携・協力で発生の防止に努める。	・①あいさつ指導②清掃指導③廊下歩行指導④はきもの指導⑤言葉づかい指導の5点に重点をおき、反復・継続的に指導することで生活・行動の規範意識を高め、落ち着いて学校生活を送ることができるようにする。 ・不登校や不登校傾向の児童数を減少させる。	毎月、生活朝会や学年朝会で指導を行う。緊急の場合は、校内放送でも指導を行う。職員が一人で抱え込むことが無いよう、チームで指導を行っていく。 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの関係機関と連携・協力する。	生徒指導
	●心の教育	*人権・同和教育の充実 *特別活動等の充実 *道徳授業の充実	・人権・同和教育の推進を図り、どの子どもも楽しく過ごせる学級・学校づくりを行う。 ・計画的な集会活動や毎月の委員会活動を実施する。 ・道徳授業の工夫改善を図る。また、年1回以上ふれあい道徳を全学級で行う。	参観日にふれあい道徳授業を行い、保護者・地域の方に本校道徳教育の理解を求める。 人権教育をもとに子どもたちの豊かな人間関係を築き、どの子どもにとっても楽しい学級・学校づくりを行う。	人権・同和教育 道徳

② 確かな学力の定着

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
教育活動	●学力の向上	*学び方のきまりの徹底 *確かな学力の育成 *基礎学力の徹底指導 *校内研究の充実・推進 *読書指導の充実	・学習のきまりの達成率は80%をめざす。 ・CRTテストや学習状況調査の結果を分析し、指導に活用する。 ・12月学習状況調査で各教科の「十分達成」に対する割合を0.1ポイント向上させることをめざす。 ・年間の読書量について一人平均80冊以上をめざし、学年で目標を決めて奨励する。	学習のきまりが守れているか学期に1回児童や教師で振り返る。 学習の基礎・基本を日々の授業で徹底する。 研究授業だけでなく、児童にめあてを理解させ、分かりやすい授業をめざし、日常の授業改善を図る。 学年に応じた、読書の量と質が向上するように推進する。	学力向上 図書館
	○教職員の資質向上	*校内研究(算数科)の充実 *職員研修の充実 *参画意識の育成	・研究授業の充実を図る。(研究会:6回) ・職員研修を年5回以上開催する。 ・部会の充実を図る。	毎回講師を招聘し、研究会の充実を図る。 職員の経験や特技を生かした研修を行い、職員相互の情報交換の機会を増やす。	教頭 各担当 研究 主任
	○特別支援教育の充実	教員の専門性と意識の向上	・特別支援教育に関する研修会を行い、専門性が向上したと感ずる教員の割合を80%以上にする。 ・ケース会議などを充実させ、支援が必要な児童に対してチームで対応できたと答えられる教員を80%以上にする。	・年間3回以上研修会を行うことにより、専門的知識を深めることで、それぞれの生徒に対して適切な対応ができるようにする。 ・毎月必要に応じてケース会議を開き、支援が必要な児童の情報を共有し、すべての教員が対応できる環境を整える。	特別支援教育

③ 健やかな体の育成

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
教育活動	●健康・体づくり	*基本的な生活習慣の確立	保護者アンケート「わが家では、よい生活習慣の定着、食事の工夫、健康、疾病治療に努めている」回答を90%以上にする。	栄養教諭とのTTで栄養についての授業を行い、食への関心を高め、食マナーや健康への意識化を図る。 学級活動として歯みがき指導を授業に組み入れ、児童や保護者にさらに歯の健康に気を付けるように意識付けをさせる。	保健

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目(あれば記入)

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
学校運営	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	校務等の効率化の促進	・各分掌間の連携及び情報共有を図り、効率的な業務への取組を推進するとともに、教職員の時間外勤務について1か月当たり平均を23時間以下にする。	・校務サーバー上で各分掌が情報共有を行いやすいように、フォルダ構成を工夫する。 ・特定の教職員に業務が集中しないようにマネジメントを行う。 ・月曜日から木曜日は、19時までには学校を施錠、毎週金曜日を定時退勤日とし、事前周知を行う。	教務部

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目